

作成日 2013年03月31日

改訂日 2018年10月16日

安全データシート

1 製品及び会社情報

製品名 : **ソイルハード**
系統-整理番号 : MCC-AAM-AA-0305-DR0
推奨用途及び使用上の制限 :
推奨用途 : 建設発生土改良
使用上の制限 : 上記以外の用途に使用するときはお相談下さい。
 人へのばく露、環境へ広範囲に拡散させるような使用方法は避けて下さい。
会社名 : 三菱ケミカル株式会社
住所 : 東京都品川区大崎1-11-2
担当部門 : 分離・アクアケミカル事業部
電話番号 : 03-6748-7455 **FAX番号** : 03-5487-6810
e-mail : MRC-DB-AAM-Polymer@ndb.m-chemical.co.jp
緊急連絡先 : 03-6748-7454 (分離・アクアケミカル事業部 技術グループ)

2 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 :	爆発物	分類対象外
	可燃性又は引火性ガス	分類対象外
	エアゾール	分類対象外
	支燃性又は酸化性ガス	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	区分外
	自己反応性化学品	区分外
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	区分外
	自己発熱性化学品	区分外
	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	区分外
健康有害性 :	急性毒性 (経口)	区分外
	急性毒性 (経皮)	区分外
	急性毒性 (吸入)	分類できない
	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分外

	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	区分外
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	分類できない
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境有害性：	水生環境有害性（急性）	分類できない
	水生環境有害性（長期間）	区分外
	オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル： なし

注意喚起語： なし

危険有害性情報： なし

注意書き：

[予防策] ・使用前に「安全データシート」の内容をよく理解してから取り扱うこと。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

- ・粉じんが滞留すると可能性は極めて低いが、粉じん爆発が起こる可能性がある。
- ・生分解性は低いと考えられる。

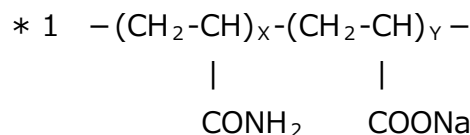
3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物

化学名又は一般名： アクリルアミド・アクリル酸共重合物のNa塩

成分及び含有量：

成分	濃度	化学式	官報公示 整理番号	CAS No.
上記ポリマー	90%以上	* 1	6-883	25085-02-3
尿素	0～1%	(NH ₂) ₂ C=O	2-1732	57-13-6
アクリルアミド	0.0025%以下	CH ₂ =CHCONH ₂	2-1014	79-06-1
水		H ₂ O	—	7732-18-5



4 応急措置

- 吸入した場合： 直ちに新鮮な空気のある場所に移り、うがい等により水洗し、異常があれば医師の診断／手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合： 直ちに多量の水で十分に洗い流すこと。異常がある場合は、医師の診断／手当てを受けること。
- 眼に入った場合： 直ちに清浄な水で15分以上洗浄した後、医師の診断／手当てを受けること（洗眼時は、擦ったり、眼を強く閉じさせないこと）。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外すこと。
- 飲み込んだ場合： 直ちに多量の清浄な水又は食塩水を飲ませて吐かせ、医師の診断／手当てを受けること。

5 火災時の措置

- 消火剤： 水、二酸化炭素、泡
- 使ってはならない消火剤： 情報なし
- 火災時の特有の危険有害性： 有害なガス(窒素酸化物等)が発生する。
- 特定の消火方法： 消火作業は、有害なガス等との接触を避けるため、風上から適切な保護具を着用して行うこと。
- 消火を行う者の保護（保護具等）： 保護眼鏡、防災面、耐熱保護手袋（内層ポリエステルフェルト製）、呼吸用保護具（酸性ガス用防毒マスク／ライフゼム等、適切な呼吸用保護具）

6 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項： 吸入、眼や皮膚への接触を防ぐため、作業の際は、防じんマスク、保護眼鏡、防災面、ゴム製保護手袋等の適切な保護具を着用するとともに、風上から作業を行うこと。
- 環境に対する注意事項： 必要に応じて水洗するが、流出した製品が河川等へ排出され、環境へ影響を起ささないよう措置を行うこと。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材： こぼれた場合は、掃き取って回収すること。水洗する場合は、洗浄水が河川等に流出しない様に回収すること。
- 二次災害の防止策： 水に溶解すると滑り易くなるので注意すること。

7 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い：
- 技術的対策（取扱者のばく露防止、火災爆発の防止、局所排気・全体換気の必要性など）；
 - 開封して取扱う場合、作業場の換気を十分に行い（必要により強制換気装置をつける）、防じんマスク、保護眼鏡、ゴム製保護手袋等の適切な保護具を着用すること。
 - 粉じんが滞留すると、可能性は極めて低いですが、粉じん爆発が起こる可能性がある。
 - 作業後は手洗い、うがいを行うこと。
- 注意事項（エアロゾル・粉じん発生防止など）；
- 紙袋が破損しないように、水濡れや乱暴な取扱いは避けること。

保管 :

- 適切な保管条件 ; 屋内の乾燥した場所に密封保管すること。直射日光下及び高温になる場所を避けること。
- 安全な容器包装材料 ; 紙袋(内袋 : ポリエチ、外装 : クラフト紙×三層) 等

8 ばく露防止及び保護措置

- 設備対策 : 粉じんが発生する場合は、局所排気装置を設置すること。
- 管理濃度 : 設定されていない。
- 許容濃度 : 設定されていない。
- 保護具 : 呼吸器用の保護具 ; 防じんマスク
 手の保護具 ; ゴム製保護手袋
 眼の保護具 ; 側板付保護眼鏡
 皮膚及び身体の保護具 ; 長袖作業衣

9 物理的及び化学的性質

- 外観 (物理的状態、形状、色など) :
- 形状 : 粉末
 色 : 白色
 臭い : 特有な臭い
 引火点 : なし
 発火点 : なし
 発火性 : なし
 可燃性 : 高温に熱すると燃える。
 爆発限界 : 現在のところ知見なし。
 嵩比重 : 0.55~0.65
 溶媒に対する溶解性 : 水に可溶で高粘性の溶液ないしゲル状となる。

10 安定性及び反応性

- 安定性 (危険有害反応可能性、避けるべき条件、混蝕危険物質、危険有害な分解生成物など) :
 通常の手扱いにおいては、熱・衝撃に対して安定。
 自己反応性・爆発性はなし。
- その他 : 酸化性 なし

11. 有害性情報 (以下成分のデータ、記載の無い成分はGHS分類に影響しないか情報がない)

- 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 :
 尿素 ; ヒト 30% 水溶液で“marked irritation”の結果。1)
- 急性毒性 (経口) :
 アクリルアミド・アクリル酸共重合物のNa塩 (以下ポリマーと称す) ;
 マウス LD50 6,000mg/kg以上 (類似品データ)

1.2 環境影響情報

生態毒性 :

ポリマー ;

水生環境有害性(急性)

魚類 ヒメダカ TLM (48時間) $\geq 500\text{mg/L}$ (類似品データ) 2)

水生環境有害性(長期間)

分解性 : 生分解性は低いと考えられる。

蓄積性 : なし

1.3 廃棄上の注意

焼却炉で少量ずつ焼却すること。(使用済の容器・包装袋も焼却処分すること)

又は、法規に基づく登録業者に委託する。

他の薬品との混合は避ける。

1.4 輸送上の注意

国連番号 : 該当しない

国連輸送名 : 該当しない

国連分類 : 該当しない

容器等級 : 該当しない

海洋汚染物質 : 該当しない

MARPOL 73/78附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質 : 該当しない

国内規制

消防法(危険物) : 該当しない

船舶安全法 : 危規則第3条危険物告示 別表第1 該当しない

航空法 : 施行規則第194条危険物告示 別表第1 該当しない

海洋汚染防止法 : 該当しない

緊急時応急措置指針番号 : -

注意事項 : 水漏れ厳禁。

運搬に際しては、粗暴な扱いをせず、落下・損傷・荷崩れの防止を確実に
行うこと。

1.5 適用法令

化審法(特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質) : 該当せず

消防法(危険物) : 該当せず

労働安全衛生法(特化則) : 該当せず

(危険物) : 該当せず

(有機則) : 該当せず

(表示物質)	: 該当せず
(通知物質)	: 該当せず
(リスクアセスメント)	: 該当せず
毒物及び劇物取締法 (毒物・劇物)	: 該当せず
危険物船舶運送及び貯蔵規則 (危険物)	: 該当せず
海洋汚染防止法 (海洋汚染物質)	: 該当せず
化学物質管理促進法(PRTR法)	
(第一種指定化学物質)	: 該当せず
(第二種指定化学物質)	: 該当せず

本製品を日本国外で使用する場合は、使用される国の法令を遵守してご使用下さい。

1.6 その他の情報

引用文献等：

- 1) OECD: SIDS Initial Assessment Report
- 2) 水質管理研究所 試験結果報告書 水質研発第1767号

その他

労働安全衛生関係法令

高分子凝集剤の安全性について (アニオン・ノニオン編) ,2003年4月,高分子凝集剤環境協会編

コメント：

記載内容は現時点で入手できた資料や情報にもとづいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものです。特別な取扱いをする等の場合は、使用されるお客様の責任にて、特別な用途・用法に適した安全対策を実施の上 お取扱い願います。

この製品を販売または供与される商社・代理店のご担当の方またはユーザー様は、自らの販売先または供与先に必ずSDSを提供していただきますようお願いいたします。そして、本製品を使用される方はもちろん、流通、保管に携わる現場の方々にもまでSDSが届きますように御協力をお願いいたします。